

あんじゅ

特集 夏休みは親子で住まい情報センターへ!!

volume
79

2019年夏号



住むまち大阪Style
素敵に自分らしく、
空家を再生して集う・住まう

大阪くらしの今昔館news
企画展 住まいをデザインする顔
—関西若手の仕事—

大阪くらしの今昔館
大大阪時代のレトロモダンな着物たち
新収蔵品「北前船船主・大家家長女(木村弘江)旧蔵品」紹介

大阪市住まいのガイド
借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内

人と住まいを結ぶ情報発信基地

大阪市立 住まい情報センター

〈今月の表紙〉
まちをつくろう

住まい情報センターで毎年8月に開催している、小学生向けワークショップです。こどもたちの自由な発想から生まれたダンボールの「まち」が、ホールいっぱい広がります。

“あんじゅ”は、「安心して快適な住生活をいとなむ」ための情報誌です。また、フランス語でAnge は「天使」という意味。よりよい暮らしを運んでくれる幸せの象徴をイメージしています。

安心・安全な未来のまちをつくろう！

毎年、夏休みの小学生向けワークショップとして、大阪市立住まい情報センターで開催している『まちをつくろう』。ものづくりをとおして、こどもたちに建築のいろいろな側面をみてもらおうとスタート、今回で19回目を迎えます。こどもの発想をそのまま形にするまちづくり。この夏もワクワクの体験が待っています。



小学生へのワークショップは 大震災が原点

8月の第一土曜日・日曜日、こどもたちが家づくりに夢中になり、できあがったまち並みに歓声がわきます。「住まいと暮らしのワークショップ『まちをつくろう』」は、こどもの頃から家やまちのことにふれ、いろんな要素で構成されているまちを考え、住環境や多様なつながりを意識する機会になればと、毎年夏休みに開催しています。



イメージを絵にすることも子どもたちには大人にない発想が

2001年にスタートした「家をつくらう」の発展形として続けられ、こどもたちが主体のユニークな建築イベントとして定着しています。

そもそもは「1995年の阪神・淡路大震災がきっかけ」だったとか。そう語るの、長くこのワークショップに携わる京都大学助教で日本建築学会近畿支部の佐藤裕一さん。建物の崩壊を目の当たりにし「支部の中で小学生ぐらいのこどもたちに、何か建築の立場から後世に伝えられるような教訓や知識を学んでもらう催

しをできないだろうか」と案が浮上。時を経て、大阪市立住まい情報センターと日本建築学会近畿支部、大阪府建築士会の三者が共同で主催するワークショップとして実現したものです。

学校で教わらない、 家やまちをつくること

8月3日、4日に開催する今回は「安心・安全な未来のまちをつくろう」がテーマ。4つのグループに色分けし、大学生ボランティアの指導とサポートのもと、製作を進めていきます。

2日間の工程

1. 寸劇・プレゼンテーション
(学びの時間)
2. スケッチ
(こどもたちのアイデアでまちや建物を描く)
3. 製作
4. 発表



佐藤さんは「寸劇」の台本も長年執筆。学習タイムとはいえ「楽しい導入になるよう、寸劇はテーマをわかりやすく伝えながら愉快的笑いもあるように心がけています」。こどもたちが豊かな想像力を発揮するスケッチは、いわば設計図。学生スタッフと共にアイデアを描き、実際の製作に入ります。

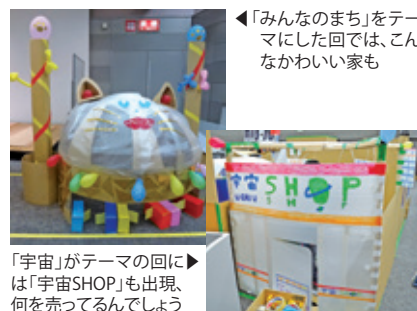


お父さんも一緒になってダンボールの家づくりに奮闘

ダンボールや紙管、テープ、カッターなどグループごとに材料を配布。「屋根が倒れないためにはどうすればいいか、つくることによって家の構造も体感としてわかる。学校で教わらないことです」と、運営を担う大阪府建築士会青年委員会の増田裕一朗さん。「親御さんも一生懸命につくってくれて、大人への発信にもなっていると思います」。

夢のある体験を通して、 建築に興味を

最後はこどもたちが発表。できた「まち」で遊ぶ楽しい時間です。また、テーマに沿った賞を設けて評価。昨年の「城下町をつくらう」では「難攻不落だじょう」「インスタ映えだじょう」といった賞を授与して盛り上がりました。



「宇宙」がテーマの回には「宇宙SHOP」も出現、何を売ってるんでしょう

◀「みんなのまち」をテーマにした回では、こんなかわいい家も

増田さんは「僕はこどもの頃に外で秘密基地みたいなをつくったりした。でも、今の都会の小学生はそういう遊びはしていない気がします。『まちをつくろう』で、自分が入れるぐらい大きな物をつくるのは夢のある貴重な体験になるのでは」と語っています。

一方、佐藤さんは『まちをつくろう』の意義をこう話しています。

「建築は安全性が大事ですが、それだけでなく普段の暮らしを快適に過ごすためにある。住む環境は心に与える影響が大きく仕事の面や家族の関係も左右します。それを良くしようとするためには建築というものが必要なんだということが少しでも伝わればいいですね」。

そうして、家やまちって何だろうと子どもたちに楽しく伝えながら、

「建築の世界と建築士というものに興味を持ってもらえたら」。

「住」は衣食住という人が生きる上で不可欠な一つ。今年は、防災にも関心を持ってもらい、安心・安全な未来のまちを子どもたちに考えてもらいます。どんな発想が飛び出すのか本当に楽しみ。親子の夏の楽しい思い出にもなることでしょう。



テーマが「城下町」だった昨年、子どもたちの創意がいっぱいのまちに参加者みんなが歓声をあげました

住まいと暮らしのワークショップ 親子の都市と建築教室2019 「安心・安全な未来のまちをつくろう!」

主催:大阪市立住まい情報センター・
(一社)日本建築学会近畿支部・
(公社)大阪府建築士会
実施日:8月3日(土) 13:00~17:30
8月4日(日) 10:30~16:30
場所:大阪市立住まい情報センター
3階ホール
定員:各回小学生35名(要保護者同伴)
参加費:無料(8月4日の昼食は各自で用意してください)
申込締切:7月20日(土)(応募多数の場合抽選、2日間とも参加する方優先)



お申し込みは、
「住まい・まちづくり・ネット」から

夏休みに「子どもたちと創る商店街」

「まちをつくろう!」と並行して、住まい情報センターで続けている「夏休み!親子de体験セミナー子どもたちと創る商店街」。小学生の子どもたちが自由に商店をデザインし、思い描いた店を親子で楽しみながらつくるイベントです。

最初に日本商環境デザイン協会の講師によるセミナーがあり、日本一長い天神橋筋商店街の歴史や、いろいろな商店のインテリアを学習。続いて、実際に天神橋筋商店街をみんなまで歩いて店を見学、お話を聞きクイズにも挑戦します。

その後、紙や布、タイルなどを使い模型のお店を親子でつくるもので、こんなお店があったらいいなと創造した店は夢がいっぱい。パン屋さんや本屋さんなど、完成したお店を並

べると世界に一つだけの商店街が出現します。親子でわいわいつくる体験は、有意義な時間をすごせたと好評を博しています。

夏休み!親子de体験セミナー「子どもたちと創る商店街」

実施日:7月28日(日) 10:30~16:30
場所:大阪市立住まい情報センター3階ホール
定員:小学生30名(要保護者同伴)
参加費:無料(昼食は各自で用意してください)
申込締切:7月14日(日)
講師・実施団体:(一社)日本商環境デザイン協会
関西支部(JCD)



お申し込みは、
「住まい・まちづくり・ネット」から



みんなのアイデアがぎゅっと詰まった商店街を歩くのも楽しい

素敵に自分らしく、 空家を再生して集う・住まう

現在、大阪市内には多くの空家が点在しています。理由はさまざまで、地域に影響を及ぼしかねない問題もありますが、一方で、古い建物に多面的な魅力を見だし、空家を再生して居住あるいは活用する人も少なくありません。そうした事例からは、現代のライフスタイルに合わせた空家活用の可能性が見えてきます。

「コミュニティカフェゆい」は入り口からバリアフリー

● 平野区コミュニティカフェゆい ●

築90余年の長屋を再生して 「居場所」に



「NPO法人オリーブひらの」
代表 森本さん

平野区の中で「平野郷」と呼ばれる歴史ある界隈の一角に、昨年11月にオープンした「コミュニティカフェゆい」。1927(昭和2)年築の五軒長屋の一軒で、全面リノベーション(価値を再生させる大規模な改修)を行い、誰もが集えるカフェに生まれ変わりました。同長屋は2002年に大阪市HOPEゾーン事業*の「まちなみ修景補助制度」を活用し、外観改修されています。他の四軒は入居されていましたが、右端の空家をコミュニティカフェとして使用するには、内部の大がかりな改修が不可欠な状態だったとか。それでも「ここがいい」と選

*歴史的・文化的な雰囲気やまちなみなどに恵まれた地域をHOPEゾーンとして位置づけ、それぞれの特色を活かしたまちなみを整備し、魅力ある居住づくりを進めてきました。(各地区の補助事業は終了しています。)

んだのが「NPO法人オリーブひらの」代表で精神保健福祉士の森本克子さん。同じ長屋で大阪市の委託事業である「地域活動支援センター」を開いていて、精神障がいや発達^{でこぼこ}凸凹がある方の支援を中心とした活動を続けています。「社会的ひきこもりの方がいつでも立ち寄れるような、病院でもビルの一室でもない温かみのある居場所にしたかった」という森本さん。道に面している長屋はそんな希望に沿い、さらに、平野郷の中で応援してくれる地域の人とのつながりがあり、何より「利用者さんがここが好きと言ってくれた」ことが背中を押したと言います。

バリアフリーも実現した リノベーション



リノベーションを手がけた
建築家 吉永さん

リノベーションは建築家の吉永規夫さんが尽力。電気やガス、水道等の設備関連の入れ替えはもとより、森本さんが要望したバリアフリー化を实



改修前の状況



改修後、誰もがくつろげる空間に変身

現し、車いすの方が入りやすいよう
 入り口にスロープを設け、多目的
 トイレも設置。防音対策やできる範囲
 での耐震補強などさまざまに配慮し
 て改修しました。吉永さんは長屋改
 修では知られた存在。自身の名前と
 「良い長屋」をかけて「ヨシナガヤ」と
 名付けて古い長屋を次々と蘇らせて
 います。2014年に平野区にある自宅
 兼事務所である長屋をリノベーショ
 ンしたのがきっかけだったとか。「大
 阪の長屋の重要さに気づいて愛着が
 わきました。戦前はみんな長屋ぐら
 しをしていた。今は環状線の外側に
 ポツポツと残ってはいるが、生活面
 でマイナスイメージもある。しかし、
 長屋は大阪の住まいの原型。今では
 作れない窓ガラスや丈夫な梁などい
 いものを生かした改修はやり甲斐が
 あります」。

「サードプレイス」にもなる 優しいサロン

今、「コミュニティカフェゆい」に
 は障がいのある方はもちろん、近所
 の人や観光客も訪れて、誰もがラン
 チやお茶を楽しむ場になっています。
 「家と病院、会社との往復になり
 がちな利用者さんにとっても、ここ
 が気軽な『サードプレイス』になれ
 ば私たちも相談にのることができ
 ます」と森本さん。また、ここで発達
 凸凹への理解を深める講座を催し
 たり多彩な教室を開いたり、近隣の
 方の理解でライブコンサートも開
 催。みんながくつろげる優しいサロ
 ンとして、集いの輪が広がっていく
 ことでしょう。



「林寺2丁目長屋」は大阪市の事業を活用して修景した外観の美しさも魅力の一つに

●生野区・林寺2丁目長屋●

古い長屋に 新たな価値を見いだす

空家オーナーの思いで再生して
 いる長屋があります。生野区の住宅
 街にある「林寺2丁目長屋」1938(昭
 和13)年築の五軒長屋で3年前に全
 部空家になりました。そのためオー
 ナーの河合元成さんはいろいろな所
 に相談。新築マンションへの建て替
 えや取り壊して駐車場にする、ある
 いは時期をみて売却など、いくつも
 の選択肢があったとか。

そんな中で、近代長屋の保全活用
 を促進する活動「オープンナガヤ大
 阪」をたまたま見学。改修された長
 屋を見て「住みやすくモダンな感じ
 になっていて、昔のものをこんなふ
 うに生かすことができるのかと、長
 屋に価値を見いだし、マイナス面と
 思っていたことが転換、見直すこ
 とができた」と言います。ご自身、この
 長屋に住んだこともあって愛着があ
 り、建物もしっかりしており、また、
 祖父が建てて受け継いだ長屋を「つ
 ぶすのは申し訳ない気持ちもあり」、
 一棟まるごとリノベーションするこ

とを決意。信頼する建築家の吉永規
 夫さんに依頼しました。

自由な改修で叶えた ライフスタイル

この長屋の一軒を改修して住みな
 ながらお店を開くことになった市原祐
 也さん。「古くていいものを探して
 いたんです。ここは学校が近くにあり
 住むのにも店を持つのにもいい環
 境で、建物自体気に入りました」。さ
 らに「店をやりたい、家族で住みた



5月にオープンしたコーヒー豆の店
 「イリヤマニハナ」

い、猫も飼いたい」という賃貸ではなかなかできない自由な改修を河合さんも了承。吉永さんご夫妻が要望に沿う形で設計・施工にあたり、店のスペースを土間にし、当初の通り庭を生かすなど、素敵なお店兼住まいになりました。5月にオープンした店はコーヒー豆の焙煎スタンドで名前は「イリマメニハナ」。「煎った



新しい住居兼お店の前に立つ借主の市原さんとオーナーの河合さん

豆に普通は花は咲かないけど、古いものが再び蘇るという意味がこの長屋にもあてはまり、店にも花が咲いて繁栄するように」と名づけたとか。空家活用で自分らしいライフスタイルを叶えて新たな一步を踏み出した市原さんです。

外観も蘇らせて、 空家を百年住宅に

この長屋は2018年度の大阪市地域魅力創出建築物修景事業のモデル修景に決定され、外観がきれいに蘇ったばかり。市原さんの入居はちょうどいいタイミングでした。

また、外観の修景には予想しな

かった効果もあったようです。「工事中から近所の人など多くの反響があり、入居したいとたくさんの人が手をあげてくださった。長屋はまちに面していますし、修景事業で外観を直すのは重要なことと思った」と吉永さん。「外がよくなると中も見せてと言ってくれて、住んでみたいと思ってもらえる」と河合さんにもっこり。長屋は店や事務所に活用できるなど多様な可能性を秘めています。改修して空家が活かされれば、家の息吹きがまちなみに活気をもたらすことでしょう。吉永さんは「リノベーションで百年住宅になれば」と長屋の可能性を感じています。

大阪市からのお知らせ

空家の利活用や建物の修景(外観の特徴を活かした改修等)をサポートします

空家に住みたい！活用したい！

空家利活用改修補助事業

空家の改修前に劣化状況等を確認するインスペクション(既存住宅状況調査)や、空家所有者等による住宅の性能向上に資する改修に対して補助します。また、子ども食堂や高齢者サロンなど区のニーズを踏まえた地域まちづくりに資する用途への改修等を非営利団体が行う場合にも補助します。

【問合せ先】

各区空家相談窓口および
都市整備局防災・耐震化計画グループ
電話：06-6208-9622



建物の修景って？どうしたらいい？

地域魅力創出建築物修景事業

建築物の外観の特徴を活かした改修やまちなみに配慮した整備(修景)の促進により、地域魅力の創出を図るため、市内全域の建築物を対象に、「無料の修景相談」や「モデル修景への補助」を行っています。

※2019年度のモデル修景へのエントリー受付は終了しています。

【問合せ先】

都市整備局まちなみ環境グループ
電話：06-6208-9631



住まいをデザインする顔

— 関西若手の仕事 —



2019年6月15日(土)～7月15日(月・祝) ※詳細は9ページにも掲載



関西には数寄屋、町家、長屋など伝統的な住空間と環境が生まれ、それらを土壌として、現代住宅の分野においても多くの先端的な建築家を輩出してきました。近年はAIやIOTなど通信を利用した機器の家庭への進出もめざましく、社会がグローバル化する中で住まいに求められるニーズも多様化しています。若手建築家はこれに応じて新たなツールや技術を利用しながら設計し、多様で可能性あふれる

デザインを展開し、新たな活動領域へとネットワークを広げています。

2013年、大阪暮らしの今昔館では企画展「住まいをデザインする顔」を開催し、20組の30代若手クリエイターの作品を展示しました。2回目となる今回は関西の代表的な住宅建築家である竹原義二氏と岸和郎氏の企画で、関西の40歳以下のクリエイター30組を迎え展示をすることとなりました。住宅の設計や長屋のり

ノベーション、展示空間の設計、建物の解体をイベント化するグループなど、より多様化する建築の側面を、模型、図面や写真パネル等で紹介します。大阪の伝統的な住まいを常設展示する当館で、現代の住まいをデザインする人々の仕事に触れていただき、未来の住まいづくりへの予感を提示します。

(企画実行委員、建築家・WIZ ARCHITECTS代表 吉井 歳晴)

出展者(敬称略)

石倉康平	石倉建築設計事務所	殿井環 芦田奈緒	TAO
今村謙人	カモメ・ラボ	中西ひろむ	中西ひろむ建築設計事務所
大庭徹	大庭徹建築計画	中村重陽・中村紀章	中村×建築設計事務所
奥田晃輔・堀井達也	OHArchitecture	西山広志・奥平桂子	NO ARCHITECTS
加藤正基		半田俊哉・平田智子	エイチ・アンドー級建築士事務所
川上聡	SATOSHI KAWAKAMI ARCHITECTS	藤田慶	フジタケイ建築設計事務所
川口裕人+湯川晃平	1110建築設計事務所+ユカワデザインラボ	古川晋也・門間香奈子	モカアーキテクト
貴志泰正	貴志環境企画室	堀賢太	堀賢太建築設計事務所
北川 浩明・今津修平/COCCA		前田裕紀・奥井希・野崎将太+飯坂拓也	前田文化+MICROCOSMOS
京智健	京智健建築設計事務所	松本光素	KOSAKU MATSUMOTO
小松一平	小松一平建築設計事務所	安川雄基・富吉美穂	アトリエカフエ
近藤陽子	nLDK一級建築士事務所	山口晶・白石雄大・山口みどり・大島亮	TEAMクラプトン
佐藤伸也	佐藤伸也建築設計事務所	山口陽登	YAP
瀧尻賢		吉田甫	HAJIME YOSHIDA ARCHITECTURE
田中郁恵	田中郁恵設計室	吉永規夫・吉永京子	Office for Environment Architecture

大大阪時代のレトロモダンな着物たち

新収蔵品「^{きた まえ ぶね}北前船船主・^{おま いえ}大家家長女(木村弘江)旧蔵品」紹介

新収蔵品のアンティーク着物

大阪くらしの今昔館では、大阪の住まいの歴史と生活文化に関する幅広い資料の収集に努めており、平成30年度にはご寄贈により、大正期から昭和戦前期のアンティーク着物と和装小物類、生活雑貨類150点余り(資料名:北前船船主・大家家長女(木村弘江)旧蔵品)が新たに収蔵品に加わりました。これらは振袖、色留袖、七五三や十三詣りの晴れ着、小紋や銘仙などのおしゃれ着から普段着まで多岐にわたります。

この一大コレクションは、北前船の船主であった大家七兵衛家由来のもので、祖母一母(木村弘江)一娘(寄贈者)へと3代にわたって受け継がれてきました。

北前船船主・大家七兵衛家

大家七兵衛家は江戸時代の天保末

年(1845年)に加賀の瀬越で北前船の船主として事業を起し、以降、第二次世界大戦末まで続いた旧家です。瀬越を本宅としながら、経済・流通の中心であった大坂にも営業拠点を置いて事業を大きく発展させました。

四代目七兵衛の明治前期には洋和船10隻、船長以下乗組員およそ140人を抱えていたといえます。明治の中頃からは汽船会社へ移行し、通信省からの依頼でシベリア諸港との航路を開き、日露戦争の際には御用船として汽船3隻を供出するなど、国策に貢献する大企業に発展しました。

寄付者の祖父にあたる5代七兵衛は鴻池別宅(現大阪市浪速区幸町)を買い取り、一家はここで暮らしていました。寄付者の祖母にあたる5代七兵衛の妻は名古屋の呉服太物商・春日井家から嫁いできました。春日井家は名古屋の有力商人名簿に名を

連ねる名家で、嫁入りの際には贅を尽くした着物を誂えたことが想像されます。また、生まれた長女(木村弘江)のお宮詣り、七五三、十三詣りの晴れ着なども呉服商の実家が力を入れて誂えたと考えられます。

レトロモダンな着物の数々

新収蔵の着物は、大正末ごろから昭和戦前期一大大阪時代に作られたものが中心です。大胆な色使いや洗練された図柄には、当時の流行や嗜好が反映されており、大大阪時代の空気を感ずることが出来ます。



大家家が居宅としていた旧鴻池別宅
床の間に北前船の模型



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7

写真1・2 大振袖

昭和15年、進水式で大家家の長女弘江(12歳)が支綱しこうに斧を入れる役を務め、その晴れ舞台のために作られました。五つ紋を入れた礼装として仕立てられています。優しい桜色の地に、金糸銀糸のほか様々な色糸の刺繍で牡丹や菊など四季の花をちりばめ、それらの間に流水が描かれた豪華な大振袖です。

写真3 中振袖

十三詣りの中振袖。進水式と同じ昭和15年に作られたと思われます。大胆にデフォルメされた踊り桐の図柄と彩度を抑えた色使いがレトロで可愛い印象をつくっています。

写真4 花菱文様の小紋

生地全体に花菱文様が描かれた単衣の小紋。鮮やかな緑色と青色で文

様を染め分け、さらに霞文を重ねたモダンなデザイン。ところどころに金糸で縫い取りが施され、小紋ながら手の込んだ作りになっています。

写真5・6

大正ロマンの後には、昭和モダンといわれるアールデコの影響を受けたモダンデザインが流行します。写真5は黒とグレーの縦縞柄を鮮やかな赤が引き締める昭和モダンの普段着。また、裏地に使われた鮮やかなレモンイエローもモノトーンの表地を際立たせています(写真6)。

写真7~10 銘仙の着物と羽織

大正期から昭和戦前にかけてブームとなった銘仙。様々な色やデザインのもので作られました。写真7はローズ色の地に動きのある臙脂色の大きな渦巻き模様が可愛い普段着。

写真8・9は矢やがすり紺文様の銘仙と羽織。矢紺は女学生が身に着けたことで大正期以降に大流行します。この着物は女学生が身に着けたものに比べ大柄。羽織には図案化された牡丹が大きく描かれて目を引きまします。写真10も銘仙の着物と羽織。目の覚めるような高彩度の青緑と黄の色使いに、くっきりとした裏梅文様が配置された斬新な図柄は、現代の北欧デザインにも通じるポップな印象を与えます。

今回ご紹介した「北前船船主・大家家長女(木村弘江)旧藏品」の着物は、企画展「大大阪時代に咲いたレトロモダンな着物たち」(令和元年7月24日~9月1日)で展示公開します。この機会に、大大阪時代の女性が身に纏ったレトロモダンな着物の魅力に触れてください。

大阪くらしの今昔館学芸員
深田 智恵子



写真8



写真9



写真10

企画展

大大阪時代に咲いた レトロモダンな着物たち

7月24日(水)~9月1日(日)

- 会場:大阪くらしの今昔館
8階 企画展示室
- 開館時間:10時~17時
(入館は16時半まで)
- 休館日:毎週火曜日

大阪くらしの今昔館 催し物ガイド

充実した常設展示や楽しいイベントまで、盛りだくさんな内容でお楽しみください。
 ※入館料(常設展)が必要です。予告なく変更することがあります。事前にお確かめください。
 ※定員がある当日先着のイベントは8階受付で12時から参加券を発行します。

企画展

■ 住まいをデザインする顔 — 関西若手の仕事 —

～7月15日(月・祝)

40歳以下のクリエイター30組の多様化する仕事をマッピングして活動領域を可視化し、模型、図面や写真パネル等で紹介します。リアルで先進的な住まいをデザインする人々の仕事の今に触れ、未来の住まいづくりへの予感を提示します。

●企画展のみ:300円

■ 大大阪時代に咲いた レトロモダンな着物たち

7月24日(水)～9月1日(日)

大正末ごろから昭和戦前期一大阪時代に作られたものを中心とした、アンティーク着物と和装小物類、生活雑貨類を展示し、大大阪時代の女性が身にまとったレトロモダンな着物の魅力を伝えます。

●企画展のみ:300円

常設展

■ 夏祭の飾り

～9月1日(日)



■ 商家の賑い

9月7日(土)
～令和2年4月5日(日)



季節のしつらい

■ 建具替(夏建具)

～9月1日(日)

■ 月見飾

9月11日(水)～9月23日(月・祝)

イベント

■ 町家寄席—落語

江戸時代へタイムスリップ! 大坂の町家で落語を聞いてみませんか。

①7月10日(水)

②7月27日(土) インターナショナル町家寄席(英語落語)

③8月7日(水) ④9月11日(水)

14:00～15:00

■ 上方の華と粋—座敷舞

9月29日(日) 14:00～15:00

●出演:山村若女御一門



■ 町家でお茶会

①7月21日(日) ②8月18日(日)
 ③9月15日(日) 今昔庵茶会—お煎茶
 13:00～15:00
 ●茶葉代:300円 ●定員:先着50名



■ 楽市町家

町家の店先で手作り雑貨を販売します。

8月10日(土)、11日(日)
 13:00～16:00



■ まちなみ探偵団(事前申込制)

8月22日(木) 10:30～16:30

●参加費:無料(保護者は入館料別途必要)
 ●対象:小学校4・5・6年生(保護者送迎必要)

●定員:20名(要事前申込)

●申込方法:ハガキ(FAXも可)に、参加者・保護者氏名、学年、住所、電話番号を記入の上、大阪くらしの今昔館へ。インターネットからもお申し込みいただけます。詳しくはHPへ。



■ 第14回 子ども落語大会(事前申込制)

「めざせ! 天満天神繁昌亭!」入賞すれば10月6日(日)に天満天神繁昌亭で落語ができる!

8月25日(日) 12:00～17:00(予定)

●参加費:無料

●対象:中学生以下、多数の場合抽選、落語・小噺・おもしろい話なら何でもOK。持ち時間1人10分以内(厳守)。

●申込:往復ハガキに、氏名(フリガナ)・年齢(学年)・住所・電話番号・演目・見台(要or否)・「出場に際してひとこと」をご記入の上、大阪くらしの今昔館へ。

●締切:8月12日(月・祝)必着



第13回優勝者

■ 彼岸の屋台

昔ながらの遊びを中心にして大人も子どもも楽しめます。

9月21日(土)、22日(日) 13:00～16:00



ワークショップ

■ ミニすだれを作ろう

7月13日(土) ①13:30 ②14:30

●材料費:200円
 ●定員:先着各回10名



■ 風鈴を作ろう

7月27日(土) ①13:30 ②14:30

●材料費:300円 ●定員:先着各回10名



■ うちわを作ろう

8月12日(月・祝) 13:30 ②14:30

●材料費:300円
 ●定員:先着各回10名



■ 千代紙ろうそくを作ろう

8月24日(土) ①13:30 ②14:30

●材料費:200円
 ●定員:先着各回10名



■ 組みひもストラップを作ろう

9月14日(土) ①13:30 ②14:30

●材料費:300円
 ●定員:先着各回10名



■ ひき臼・すり鉢体験

9月28日(土) 13:30～15:00

●参加費無料



■ おじゃみ(お手玉)を作ってみよう

●開催日:毎月 第2日曜日

●時間:14:00～16:00

●材料費:100円

●定員:先着15名



■ 折り紙で遊ぼう

☆折り紙を折ろう

●開催日:偶数月 第3土曜日

●時間:13:30～15:00

●材料費:100円

●定員:先着16名



☆鶴のつなぎ折り

●開催日:奇数月 第3日曜日

●時間:①初級13:30～

②中上級14:30～

●材料費:100円 ●定員:各回先着8名



見て聞いて楽しむ

■ 絵本で楽しい時間

●開催日:毎月 第4日曜日

●時間:14:30～15:00

※9/22の開催はありません



■ 今昔語り

●開催日:お茶会と同じ

●時間:14:30～15:00



■ 紙芝居

●開催日:毎月第3日曜日

●時間:11:00～12:00



大阪について学ぶ

■ 町家ツアー

●開催日:日曜日

●時間13:10～14:00



■ 町の解説

●開催日:毎月 第1・3日曜日

●時間:13:00～16:00



大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館



9階 なわ町家の歳時記

江戸時代の大阪の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひととき高い火の見櫓も。路地を抜けると裏屋の庶民の生活をかき見することもできます。



8階 モダン大阪 パノラマ遊覧

近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

火曜日、年末年始、その他臨時休館あり

休館日

7月～9月の休館日 7/2、9、16、23、30 8/6、13、20、27 9/2～6、10、17、24

入館料

一般 600円/団体 500円(20人以上)
 高・大生 300円/団体 200円(20人以上)

※企画展の観覧料は別途必要です。
 ※中学生以下、障がい者手帳等を持参の方(介護者1名含む)、市内在住の65歳以上の方無料(要証明書提示)

交通機関

●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電車『天神橋筋六丁目』駅下車 3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
 ●JR大阪環状線『天満』駅から商店街を北へ約650m

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階) TEL 06-6242-1170 FAX 06-6354-8601 URL <http://konjyakukan.com/>

■ご案内・費用の記述のないものは参加無料です。・茶葉代・材料費は、当日お支払いください。・日程等、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。

セミナー・イベントガイド

下記の申込先へお申し込みください(特記以外参加費は無料、要事前申込。先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します)。

1 住まい情報センター主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■住まいと暮らしのワークショップ

親と子の都市と建築教室2019「安心・安全な未来のまちをつくらう!」

2回連続講座

- 日時:
1日目:8月3日(土) 13:00~17:30
2日目:8月4日(日) 10:30~16:30
8月4日の昼食(60分程度)は各自でご用意ください。
- 場所:3階ホール
- 定員:各回35名※応募者多数の場合、2日間とも参加する方を優先して抽選(要保護者同伴、申込多数の場合は抽選)
- 申込締切:7月20日(土)
- 主催団体:(一社)日本建築学会近畿支部・(公社)大阪府建築士会



■住まいの基礎知識

はじめての住宅購入シリーズ〈不動産編〉

連続講座

第1回 プロが教える!満足できる住まい購入のコツ

- 日時:9月14日(土) 14:00~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:(一社)大阪府宅地建物取引業協会 研修インストラクター 西本 淳一

第2回 納得して契約!重要事項説明書

- 日時:9月21日(土) 14:00~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:国土交通省 近畿地方整備局職員



2 住まい情報センタータイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです

50代から始める私のケア、住まいのケア〜リビングをシェアしていきいき生活〜

- 日時:7月26日(金) 13:00~16:30
- 場所:3階ホール
- 講師:柴本 美佐代((一社)日本エルダーライフ協会代表理事)ほか
- 定員:50名(申込多数の場合は抽選)
- 申込締切:7月12日(金)
- 団体:(一社)日本エルダーライフ協会

親子で体験セミナー「子どもたちと創る商店街」

- 日時:7月28日(日) 10:30~16:30
昼食は各自でご用意ください。
- 場所:3階ホール
- 講師:(一社)日本商環境デザイン協会関西支部 [JCD]
- 定員:30名(要保護者同伴、申込多数の場合は抽選)
- 申込締切:7月14日(日)
- 団体:(一社)日本商環境デザイン協会関西支部 [JCD]

備えあれば憂いのない空き家対策〜自然災害で被害にあわないために

- 日時:9月28日(土) 13:30~15:15
※セミナー終了後個別相談会を実施
- 場所:3階ホール
- 講師:米田淳((一社)大阪府不動産コンサルティング協会会長)ほか
- 定員:100名(先着順)
- 個別相談会:定員12組(1組30分)(要事前申込・セミナー当日抽選)
- 団体:(一社)大阪府不動産コンサルティング協会

小学生マンションドクター養成塾 ステージ4 タワーマンション安全大作戦!

- 日時:8月24日(土) 13:30~16:30
- 場所:3階ホール
- 講師:NPO法人集合住宅維持管理機構のマンションドクター
- 定員:30組(小学生対象・保護者同伴)(申込多数の場合は抽選)
- 申込締切:8月10日(土)
- 団体:NPO法人集合住宅維持管理機構



3 その他 住まい関連イベント

マンション管理支援機構イベント マンション管理基礎セミナー

連続講座 & 管理組合交流会

- 日時:
①基礎セミナー
・7月15日(月・祝) 13:30~16:30
・7月27日(土) 13:30~14:50
②管理組合交流サロン(まんかんサロン)
7月27日(土) 15:00~16:30
- 場所:3階ホール
- 定員:
①各日100名(先着順受付、事前申込が必要)
②30名(事前申込が必要)(申込多数の場合は、新しく管理組合役員になられた方を優先して抽選)
- 主催者:大阪市マンション管理支援機構(電話:06-4801-8232)

マンション管理支援機構イベント マンション管理フェスタ 参加者募集!!

9月8日(日)開催のマンション管理フェスタで「マンション自慢」をご披露いただける方を募集します。(例)マンション内サークル活動ご披露いただいた活動内容をフェスタ当日パネルで展示します。



- 締め切り:8月7日(水)
- お問い合わせ先:大阪市マンション管理支援機構(電話:06-4801-8232)

1主催イベント、2タイアップイベントの参加申し込み方法

- 下記ホームページから参加申し込みができます。
住まいまちづくりネット▶<https://www.sumai-machi-net.com/>
- 2次元バーコードから参加申し込みができます。
- ホームページでの申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- ハガキまたはFAXでも参加申し込みができます。記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。



記入事項:イベント名、住所、氏名(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話希望の有無、個別相談希望の有無など

- お申し込みにあたっていただいた個人情報は、主催者大阪市立住まい情報センターが保管し、利用状況統計基礎データおよびイベント保険(必要な場合)への加入、今後のイベントのお知らせ等に利用させていただきます。
- 手話をご希望の方、お子様(未就学児)をお連れの方は開催2週間前までにお問い合わせください。

【注意】一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。[先着順]のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。[抽選]の場合に限り、ハガキかEメールで当落をお知らせします。

イベントのお申し込み・お問い合わせは

大阪市立 住まい情報センター

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20

住まい情報センター4F 住情報プラザ

TEL 06-6242-1160 FAX 06-6354-8601

URL <http://www.osaka-angenet.jp/>

■開館時間 平日・土曜 9:00~19:00 / 日曜・祝日 10:00~17:00

■休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く) 年末年始

※7月~9月の休館日は本誌裏面をご参照ください。

※大阪くらしの今昔館と休館日が異なります(左のページをご参照ください)。

ホール・研修室・企画展示室の貸し出しをしています

住まいに関するさまざまな催しを開催している住まい情報センターのホールや研修室、そして大阪くらしの今昔館企画展示室。講演会やサークル活動など多目的にご利用いただけます。



3階ホール

■お問い合わせ・ご予約 ホール・研修室・企画展示室

大阪市立住まい情報センター TEL 06-6242-1160



企画展示室

住まい情報センターでは、公的賃貸住宅等の住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てる時、借りる時の一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策等に関するご質問に、窓口又は電話で相談員が対応します。



住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

◆ **市営住宅** … 住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。

🏠 **定期募集等【抽選】**

募集時期	居住条件等	収入基準条件(月額所得額)	お問い合わせ
7月募集:令和元年7月3日(水)~7月17日(水)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、申込区分により申込資格が設定されています。一部の申込区分では、府内居住の方や市内在勤の方も申し込みができます。	一般世帯:158,000円以下 高齢者・障がい者世帯等: 259,000円以下	大阪市住まい公社募集担当 TEL:6882-7024/FAX:6882-7021
11月募集:令和元年11月5日(火)~11月18日(月)			
2月募集:令和2年2月3日(月)~2月17日(月)			

🏠 **福祉目的募集【抽選】** ※ケア付住宅については、家賃や共益費以外に費用負担がかかる場合があります。

募集時期	募集区分	居住条件等	収入基準条件(月額所得額)	お問い合わせ
毎年5月上旬頃	ひとり親	配偶者のない方とその子ども(扶養している20歳未満の児童が含まれること)のみで構成する世帯が対象です。	一般世帯:158,000円以下 高等学校修了前とされる年齢の子どもがいる世帯・障がい者世帯等: 259,000円以下	大阪市子ども青少年局 こども家庭課 TEL:6208-8035/FAX:6202-6963
	障がい者	障がい者住宅、障がい者ケア付住宅、車いす常用者向け住宅(特別設計住宅)(ケア付住宅) 障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していることや、その他申込資格が設定されています。	一般世帯:158,000円以下 高齢者・障がい者世帯等: 259,000円以下	大阪市福祉局 障がい福祉課 TEL:6208-8081/FAX:6202-6962
	高齢者	高齢者・高齢者特別設計住宅、高齢者ケア付住宅 60歳以上の方であることや、その他申込資格が設定されています。	一般世帯:158,000円以下 高齢者・障がい者世帯等: 259,000円以下	大阪市福祉局 高齢福祉課 TEL:6208-8060/FAX:6202-6964

🏠 **随時募集【先着順、ただし年3回の追加募集住戸は抽選】**

募集時期	居住条件等	収入基準条件(月額所得額)	お問い合わせ
定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。年3回、募集住戸の追加があります。	現に大阪市内にお住まいの方が対象で、申込資格等は定期募集と同様です。一部の住戸について、単身で居住し、日常生活ができる方であれば、障がい者手帳所持の有無等にかかわらず、年齢が60歳未満の方も申し込みができます。	一般世帯:158,000円以下 高齢者・障がい者世帯等: 259,000円以下	大阪市住まい公社募集担当 TEL:6882-7024/FAX:6882-7021

◆ **中堅層向け住宅** … 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者層向けの賃貸住宅です。大阪市内にお住まいの方も申し込みができます。

住宅種別	収入基準条件(月額所得額)	お問い合わせ
大阪市が管理している住宅 (先着順)	市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅 物件情報 ▶ https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000330090.html 先着順、ただし年3回の追加募集住戸は抽選。	158,000円(※123,000円)以上 ~487,000円以下 ※50歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合
大阪市住まい公社が管理している住宅 (先着順)	公社一般賃貸住宅 物件情報 ▶ http://www.osaka-jk.or.jp/chintai/select_type/jutaku_type_04	158,000円(※123,000円)以上 ※40歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合
	公社すまいりんぐ・民間すまいりんぐ (公社管理) 物件情報 ▶ http://www.osaka-jk.or.jp/chintai/	200,000円(※123,000円)以上 ~601,000円以下 ※40歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合
民間指定法人が管理している住宅 (先着順)	民間すまいりんぐ(指定法人管理) 制度概要 ▶ https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000110162.html	200,000円(※123,000円)以上 ~601,000円以下 ※40歳未満の入居者所得が世帯合計所得の半分以上ある場合

◆ **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	制度概要	お問い合わせ
大阪府営住宅	市内に所在する建替え等の事業を行っている府営住宅については、事業完了後に市に移管されます。詳細は右記までお問い合わせください。	大阪府営住宅藤井寺管理センター TEL:072-930-1093
大阪府住宅供給公社住宅	窓口・インターネット等により先着順受付 物件情報 ▶ http://www.osaka-kousha.or.jp/	大阪府住宅供給公社募集グループ TEL:6203-5454
都市再生機構(UK都市機構)賃貸住宅	窓口・インターネット等により先着順受付 物件情報 ▶ http://www.ur-net.go.jp/chintai/kansai	UR梅田営業センター TEL:6346-3456 空室情報 フリーダイヤル:0120-23-3456

◆ **民間賃貸住宅**

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市内に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。〈セーフティネット住宅情報提供システム〉 https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 TEL:6208-9222/FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市内に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。〈サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム〉 https://www.satsuki-jutaku.jp/search/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 TEL:6208-9648/FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅と、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体や相談の窓口等を、以下のサイトで検索できます。〈あんぜん・あんしん賃貸検索システム〉 http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府住宅まちづくり部 都市居住課 TEL:6210-9707/FAX:6210-9712

※大阪市の市外局番は「06」です。 ※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット (<http://www.osaka-angenet.jp/>) および大阪市ホームページでご確認ください。
 ※補助、助成事業の利用には事前協議が必要ですのでお早めにご相談ください。また、受付期限があるものもあります。なお、予算額に達し次第受付を終了しますのでご注意ください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する、新婚世帯・子育て世帯を対象に住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申し込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口 (住まい情報センター4階) TEL:6356-0805 / FAX:6356-0807
大阪市子育て安心マンション認定制度	「子育てに配慮した仕様」と「子育てを支援する環境」を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。 認定を受けたマンションを購入し、りそな銀行の住宅ローンを申し込まれた場合、物件により金利が引き下げられます(防災力強化マンションとも)。	大阪市都市整備局 安心居住課 TEL:6208-9648 / FAX:6202-7064 りそな銀行ローン営業部 北浜ローンプラザ TEL:6222-3714
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。認定物件の金利引き下げについては、子育て安心マンション認定制度の欄をご覧ください。	大阪市都市整備局 安心居住課 TEL:6208-9648 / FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪市エコ住宅」として認定し広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ TEL:6208-9631 / FAX:6202-7064
民間老朽住宅建替支援事業 (タテカエ・サポーターズ21)	集合住宅への建替建設費補助	昭和56年5月31日以前建築のアパートや長屋等を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替費用の一部を補助します。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	優先地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	優先地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点整備エリアにおいては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。
防災空地活用型除却費補助制度	優先地区内の一部エリア等において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ TEL:6208-9234 / FAX:6202-7025
都市防災不燃化促進事業 (今里筋沿道・緑橋～百済貨物ターミナル駅)	地域防災計画に定める避難路のうち、本市の指定する避難路の沿道区域(道路境界から奥行き30mの範囲)で、一定の基準に適合する耐火建築物等を建設する場合に建設費の一部を補助します。	

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。また、耐震事業者の紹介を行います。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) TEL:6882-7053 / FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ TEL:6208-9228 / FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します(令和元年度までに限り、補助率・補助限度額を引き上げています)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ TEL:6208-9631 / FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅等のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ TEL:6208-9228 / FAX:6202-7064
建物の修景に関する無料相談	建物の外観の特徴を活かした改修や、まちなみに配慮した整備等、建物の「修景」に関することならどんなことでもお気軽にご相談ください。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ TEL:6208-9631 / FAX:6202-7064
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修や地域まちづくりに資する用途への改修に要する費用等の一部を補助します。	各区役所空家相談窓口 および 大阪市都市整備局 防災・耐震化計画グループ TEL:6208-9622 / FAX:6202-7025
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンションアドバイザー派遣	マンションの建替えや計画的な修繕(大規模修繕工事)・省エネルギー改修についてのアドバイスを行うため、管理組合の勉強会等の講師役として専門家を派遣します。計画的な修繕に関するアドバイザー派遣は2回まで受けることができます。(予約制・無料)	予約申込 住まい情報センター TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	分譲マンションの管理組合に対して、長期修繕計画の作成や見直しにかかる費用の一部を補助します。 補助率:補助対象となる経費の1/3 上限:30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ TEL:6208-9224 / FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	分譲マンションの管理組合に対して、マンションの再生(建替え、耐震改修など)を検討する費用の一部を補助します。 補助率:補助対象となる経費の1/3 上限:60万円	
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局 (住まい情報センター4階) TEL:4801-8232 / FAX:6354-8601

このページでは、「あんじゅ」や「住まい情報センター」に対するご意見や応援メッセージ、センターの活動やお知らせなど、さまざまな情報をお届けします。「あんじゅ」「住まい情報センター」へのご意見・ご要望、今後とりあげてほしいテーマ、開催してほしいイベントなどを、どしどしお寄せください。

令和元年度チャレンジタイアップの実施団体が決定しました！

前例のないユニークなテーマや仕掛けのあるイベントを実施いただける団体を募集し、以下の団体が採択されました。今後のセミナーにご期待ください！

応募団体名	事業タイトル名
大阪24区街の記憶プロジェクト	スマホアプリでできる大阪24区面白さ再発見の街歩き
一般社団法人日本エルダーライフ協会	女性のための住まいと暮らしのケア(手入れ)とケア(介護) ～50代からの暮らし方～
あかりバンク	灯りで変える、介護空間の照明コーディネート術
公益社団法人 全日本不動産協会大阪府本部	民法改正施行どうなる不動産売買 どうなる瑕疵担保責任 (家を買う時買う時に困らないように)

※タイアップ事業は、住まい情報センターと住まい・まちづくりに取り組むNPOや専門家団体等が連携、協働して実施するセミナーやイベントを通じて、市民の皆様の住環境の質や大阪の居住魅力向上のために実施する事業です。

住まいのライブラリーからのお知らせ

「ブックトークサロン2019」「リサイクルブックフェア」運営ボランティアメンバーを募集します！

住まいのライブラリーに所蔵している本を一冊クローズアップし、本にまつわるお話をお聞きする「ブックトークサロン」を開催します。(2019年11月を予定。会場は住まい情報センター3階ホール)また、住まいのライブラリーで役目を終えた本を市民の皆様に提供する「リサイクルブックフェア」も開催する予定です。9月から11月当日までの企画準備会議(2,3回を予定)に参加したい、イベント当日に設営・運営の手伝いをしてみたいなど、イベントづくりに興味のある方はぜひご応募ください。

【応募方法】 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記して、FAXか郵便で下記の宛先までお申込みください。住まい・まちづくり・ネットの申込フォームからお申込みできます。その際は、氏名・メールアドレス・電話番号・住所・年齢をご記入のうえお申込みください。※7月31日(水)締切

【応募先】 〒530-0041 大阪市北区天神橋6-4-20 住まい情報センター4階
住情報プラザ「ライブラリーイベント運営ボランティアメンバー募集」係

お申込はこちら⇒



過去の住まいのライブラリーイベントはこちらからご覧いただけます。⇒<https://www.sumai-machi-net.com/library-volunteer/report>

大阪市からのお知らせ

「第33回大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦を募集します！

大阪市では魅力ある良質な集合住宅(共同住宅・長屋・戸建住宅の集合)を表彰する「大阪市ハウジングデザイン賞」を毎年実施しています。対象となる集合住宅は、5年以内に建築または改造されたものや、完成後20年以上経過している維持管理が良好なものです。今年度は6月20日(木)から7月20日(土)まで推薦を募集しています。自薦、他薦は問いません。どなたでも応募できます。推薦をいただいた方の中から抽選で50名様に図書カード(500円分)をプレゼントいたします。多くの方々からの推薦をお待ちしています。

各区役所、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、住まい情報センター4階住情報プラザ、市役所1階市民情報プラザ等に推薦ハガキ付きリーフレットを備え付けていますので、必要事項をご記入いただき、郵送してください。また、ホームページからも応募できます。



詳細はこちらのHPをご覧ください。<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000466009.html>

お問合せ先: 都市整備局企画部住宅政策課民間住宅助成グループ 電話: 06-6208-9226

住まい・まちづくりの専門家や学識経験者が研究活動を通じて得たエピソードや体験談、旬な情報をリレーコラムとしてお伝えします。

24年後の手紙

1987年、大阪市生野区にKIM HOUSEと名付けた住宅を設計しました。時代はバブル経済の真っ最中、決して予算が潤沢とは言えないプロジェクトでしたし、工事を引き受けてくれる工務店を探すところから始まり大変な経験ではありましたが、結果としてこのプロジェクトは私の建築家としてのキャリアの1ページ目となる仕事になりました。

20坪を切る敷地面積に間口1軒半、2.7mという敷地です。関西では典型的な長屋の敷地への初

めての挑戦でした。お住まいになるのはご夫婦とお子さん3人、それにおばあちゃんの同居という6人家族の為の住宅を予算から決められた二階建ての中に納めなくてはなりません。唯一贅沢したのは構造を木造ではなく鉄骨造としたことで、この事が将来意味があるとは、その時は気付きませんでした。

その竣工から20年以上経った2010年、クライアントからお手紙を戴きます。6人住まいだったこの家もお母様が亡くなり子どもたちも独立し、夫婦二人になったのでそれに合わせて改装

したいとのこと。何より嬉しかったのは、子どもたちに改装の相談をしたら、それはまず岸さんに声をかけるべきだ、と言われたとのこと。1987年当時、中庭のみ

ならず屋根の上を走り回っていた子どもたちが大人になり、夏は死ぬほど暑いあの住宅を設計した一実は十分な屋根断熱を施す予算が無かった。言い訳ですが…一私に依頼しろと言ってくれたことが何よりも嬉しく、一も二もなく引き受けました。

今度の改装では屋根にも壁面にも十分な断熱を施したことはもちろんです。それに20数年前に構造を鉄骨としたことがここで生きてきました。改装時には構造に手を掛ける必要がなく、機能的な変更工事だけで済んだのです。

結果として20年以上の時間を越えてひとつの建築の変化と成長を見続けられたこと、建築家としてこんな幸せな出来事は経験したことがありませんでした。

建築家 岸和郎



KIM HOUSE 1987

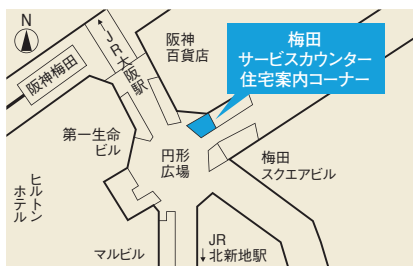


KIM HOUSE 2011

市内3カ所にある大阪市サービスカウンターで広報誌「あんじゅ」をはじめ、住宅関連パンフレットの配布等を行っています。

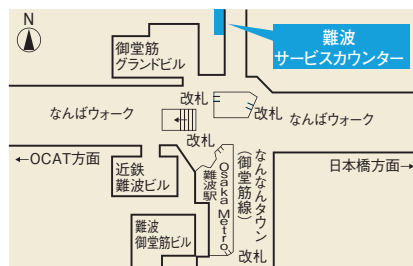
サービスカウンターの営業時間：平日／9時～19時 土・日・祝日／10時～19時 ※臨時休業する場合があります。

■ ディアモール大阪B1F



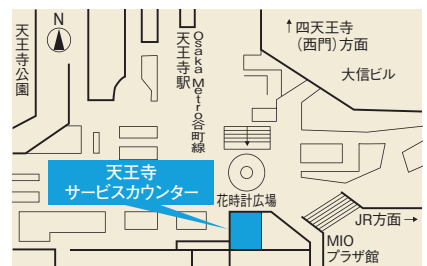
TEL: 06-6345-1103 FAX: 06-6345-0873

■ Osaka Metro難波駅構内B1F



TEL: 06-6211-0874 FAX: 06-6211-0869

■ あべちかB1F



TEL: 06-6773-0874 FAX: 06-6773-6600

住まいに関するご相談をお受けしています

■住まいの一般相談(随時/窓口相談・電話相談)

公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口又は電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国・朝鮮語にも対応します(外国語対応は17時まで)。

■住まいの専門家相談(予約制/面接相談)(ご予約は30日前からお受けしています)

お申し込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。日程が変更になる場合がありますので、ご確認ください。

専門家相談日時	内容
住まいの法律	概ね毎週土曜日[10時~13時30分]
住まいの資金計画	隔週土曜日[10時30分~12時]
建築・リフォーム	隔週土曜日[10時~13時]
分譲マンション(法律)	概ね月1回日曜日[13時~16時]
分譲マンション(管理一般)	概ね週1回木曜日[14時~18時]

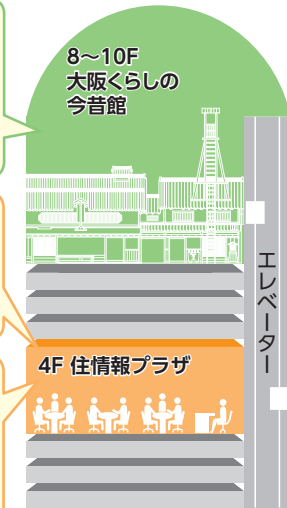
●相談に関する秘密は厳守します。●係争中の案件や営利目的の相談、トラブルのあっせん・仲裁、賃貸住宅の経営に関する相談等、当センターで対応できかねるものは、他の相談機関等の情報を提供します。●専門家相談は、大阪府に在住、在勤または在学の方を対象とします。●専門分野ごとに年1回までとさせていただきます(分譲マンション(管理一般)を除く)。

■連携機関による定期相談

(公社)大阪府建築士会による建築相談…毎週日曜日 13時~16時(受付は当日の12時30分~15時30分 ※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります)
近畿税理士会による税務相談(予約制)…毎週土曜日(但し、2・3月を除く) 13時~16時(TEL 06-6242-1177で予約受付)

■住まい・大阪に関するセミナーやイベントを開催しています

■大阪市での住まい探いをサポートします



■大阪くらしの今昔館(8階)

詳しくは本誌6~9ページをご参照ください。
※住まい情報センター(4階住情報プラザ)と開館日時が異なります。

■住情報プラザ(4階)

住まいに関するご相談の受付やさまざまな情報を提供しています。



■住まいのライブラリー(4階)

「住まい」や「大阪」に関する図書を集めたライブラリーがあります。図書の貸し出しも行っています。



■住まい情報センター開館情報

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 4階

■開館時間 平日・土曜 9時~19時 / 日曜・祝日 10時~17時
■休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)、年末年始

7月~9月の休館日	7月2日、9日、16日、23日、30日 8月6日、13日、20日、27日 9月3日、10日、17日、24日
-----------	---



- Osaka Metro谷町線・堺筋線・阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅3号出口より連絡
- JR環状線「天満」駅から商店街を北へ約650m

以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市立住まい情報センター TEL: 06-6242-1160

大阪市住まい公社の賃貸住宅

やちん、らくちん。入居者募集中

新婚家賃補助制度

ホームセキュリティで24時間安心・安全な暮らし

敷金・礼金 仲介手数料	補助金額	補助期間
0円	月額最大 2万円	最長 4年

コーシャハイランド野
リニューアル部屋あります

キャンペーン開催中

- 家賃キャッシュバック
- 子育てキャッシュバック
- 敷金不要! 家賃の3か月分 → 0円
- 駐車場割引 コーシャハイランド敷金・使用料3か月分 → 0円

★キャンペーン及び新婚家賃補助制度を受けるには
公社指定の保証会社のご利用が必要となります。

~「大阪市住まい公社」は大阪市住宅供給公社の業務です~

大阪市住まい公社

募集担当 06-6882-9000